

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立八代射撃場	所管課	スポーツ健康課
所在地	笛吹市八代町竹居字大口山	設置年月日 (改築年月日等)	昭和59年4月1日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県体育協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立射撃場設置及び管理条例		
設置目的	射撃の普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与するため。		
主な施設内容 (定員等)	空気銃射撃場37座 ビームライフル射撃場6座 固定標的射撃場(スモールポア)26射座 駐車場台数:乗用車70台		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 その他教育委員会が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	山梨県立韮崎射撃場(平成21年7月31日閉鎖)
---------------------	-------------------------

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	エアライフル	1,769	1,621	1,177	
	小口径ライフル	1,127	1,083	709	
	ビームライフル	630	584	649	
	利用者数合計	3,526	3,288	2,535	
	目標値	3,100	3,100	2,600	2,352
	目標値設定の考え方	近県射撃場が閉鎖していること、及び例年の実績を勘案して目標を設定した。	前年度と同様の目標値を設定した。	近県射撃場が再開したことを考慮し、前年度実績から約2割減の数値を設定した。	利用者の減少を勘案し、収支計画における数値を目標値として設定した。
	対23年度比	100.0%	93.3%	71.9%	66.7%
稼働率	-	-	-		

4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	1,776,850	708,000	1,254,895	1,307,000
	指定管理者委託料	5,378,000	5,469,000	5,469,000	5,198,000
	その他	0	0	139,702	18,000
	収入合計(A)	7,154,850	6,177,000	6,863,597	6,523,000
支出	人件費	4,484,104	4,376,000	4,223,461	4,365,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	2,256,847	1,801,000	1,968,964	2,158,000
	(うち外部委託費)(B)	243,600	375,000	237,300	251,000
	支出合計(C)	6,740,951	6,177,000	6,192,425	6,523,000
収支差額(A - C)		413,899	0	671,172	0
外部委託比率(B ÷ C)		3.6%	6.1%	3.8%	3.8%
利用者一人当りの経費		1,636	2,103	2,157	2,210

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成25年5月、8月、11月、平成26年3月 実施方法:施設利用者へのアンケート 回答数:69人
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設設備の整備状況	76.8%	0.0%	23.2%	0.0%
利用予約・手続き	97.1%	0.0%	0.0%	2.9%
利用料金	94.2%	0.0%	5.8%	0.0%
職員の対応	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
施設全体の満足度	95.7%	0.0%	4.3%	0.0%
各項目の平均	92.8%	0.0%	7.3%	0.7%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・監的をそろそろ軽いものと交換してください。重すぎてかつ正常に動かないものが多い。 ・ビームライフル銃を増やしてほしい。 ・AR射場内の照明が暗いので明るくしてほしい。 ・監的が大分古くなって使用不可のが出てきたので順次交換願いたい。 ・ARのリールが頻繁に外れた。改善してほしい。 ・冬季の利用時に射場が寒い。 ・温水の出る手洗いがほしい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備改善については今後財政状況を踏まえて検討していく。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	事業計画書どおり実施した。	事業計画書どおり実施されている。引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
運營業務	事業計画書どおり実施した。	事業計画書どおり実施されている。引き続き事業計画書に基づき適正に業務を行うこと。
自主事業	事業計画書どおり実施した。	事業計画書どおり実施されている。引き続き指定管理者の創意工夫により、利用者ニーズに沿ったサービスの向上に努めること。
利用状況	平成25年4月より近県射撃場が営業を再開したことにより、県外からの利用者が3割程度減少した。 2月の大雪により県外大学の合宿が中止になるなど影響が大きかった。	近県射撃場の再開も影響し、県外利用者を中心に利用者の減少がみられた。リピーター確保に努めること。
収支状況	委託している業務を数年契約にするなどし、経費を節減することができた。	昨年度と比較し経費を抑えており、経営努力の成果がみられる。今後は利用料収入の減少が予想されるが、引き続き適正な施設の管理運営を行うこと。
利用者満足度	職員の対応がアンケート調査で高い評価を得ている。これは古い施設、設備ではあるが、良好に整備された環境を維持している努力の成果と考える。利用者から要望のある設備の整備について対応を進めたい。	満足度に関するアンケート調査では、施設の設備については指摘がみられるが、全体の満足度や職員の対応において高い評価を得ている。今後も引き続き利用者の視線に立ったサービスの提供を行うこと。
運営目標の達成状況	利用者数目標値2,600人に対し、実績が2,535人であり、達成率は97.5%と目標を下回った。平成24年度に実施した近県射撃場再開後の利用見込みに関するアンケートでは、31%が利用しない、12%が回数減と回答していることから、近県射撃場再開が利用者数に影響を及ぼしたものと考えられる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	利用料金収入は計画を上回り、経営努力の成果がみられる。 また、利用促進のため、回数券の設定や無休営業に加え施設の情報提供などを行い、利用者サービスの向上を図る対策が実施された。利用者満足度は平均92.8%であり、利用者への丁寧な対応の成果といえる。 今後も利用促進に向けて、施設的环境整備や管理運營業務に努め、経費の削減及び利用者数の確保により増収を目指すこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	今後も協定及び事業計画書提等に基づき、施設的环境整備など適正に管理運営に努めていく。 引き続き経費削減に努めるとともに、利用者ニーズを把握して管理運營業務に反映させることで、利用者数の増加及び増収につなげたい。	

7 管理体制(組織図)



所長(兼務)	1人
嘱託員	2人
合計	3人